

おおさか AALA

非核・非同盟・平和・友好・連帯

今月の読み物
◇2面:ロシア抗議デモ◇3面:ケニア国連大使のスピーチ◇4-5面:オリガルヒ、NATO、入管問題学習会◇6面:京都府知事選と北陸新幹線延伸問題◇7面:カジノ中止を◇8面:AALA カフェ案内ほか

〒540-0004 大阪市中央区玉造 1-6-11 黒石ビル3F
2022年4月1日 No. 590

ロシアのウクライナ侵略反対！即時撤退！



2022.2.28 在大阪ロシア総領事館前サイレントスタンディング行動
写真：大阪平和委員会 記事：2ページ

ウクライナに平和を！
NO WAR!

ロシアが、ウクライナ問題の外交解決をもとめる国際世論を無視して、2月24日からウクライナ全土への大規模な軍事侵攻を行っています。これはウクライナの主権と領土を侵す侵略行為であり、「武力による威嚇または武力の行使」を慎むよう求めた国連憲章と国際法に明白に違反するものです。

ロシアがどのような口実を主張しようとも、法と人道に反する今度の行為を正当化する事はできません。軍事侵攻によって民間人を含む多くの犠牲者がでています。私たちは、このロシアの行動を強く非難し、ロシア軍に軍事行動を即時停止し、撤退するよう求めます。

プーチン大統領は侵攻にあたっての演説で、軍事侵攻の目的を、ウクライナの「脱軍事化、非ナチス化」とのべています。これはウクライナの主権と独立を全面的に否定する、ロシア中心主義の態度であり、断じて認めることはできません。

ロシアが核兵器大国であることを誇示し、反対する諸国や世論をけん制し核兵器で脅迫する姿勢をみせています。また、ウクライナにはチェルノブイリ原発事故現場はじめ多数の原発が存在しています。南部の原発にも攻撃を加え、新たな核の惨禍につながる危険性が極めて大きくなっています。プーチン大統領のこれらの姿勢は、被爆国の日本の私たちをはじめ、この地球全体で絶対に許されない行動であり、強く非難しなければなりません。

日本国憲法9条を實踐する
平和外交が求められます

このような危機的状況を解決するには、日本国憲法9条を實踐する平和外交が何よりも求められます。ロシアのように政府が他国への侵略行為に及ぶことへの歯止めが9条です。敵基地攻撃の検討など9条を骨抜きにする改憲勢力の動きに断固反対します。日本政府には、ロシアの侵略行為に抗議するとともに、憲法9条を活かした対話と協力の外交努力を強めることを改めて求めます。

世界中でロシア抗議デモ

大阪でもロシア総領事館前で抗議スタンディング

ロシアによるウクライナ軍事侵攻に対する抗議の行動が世界中で広がっています。ベルリンでは2月27日に観光名所ブランデンブルク門周辺に10万人以上が集まり、ウクライナ国旗を表す青と黄の装束で行進し、連帯を表明しました。

またロシア国内でも、当局の弾圧にも抗して、デモ全面禁止の中でも、人々は「戦争反対」を唱えながらデモを続けています。

在大阪ロシア総領事館への緊急抗議行動

大阪でも、2月28日(月)、大阪AALA、大阪平和委員会、おおさか労連などの呼びかけで、豊中市にある在大阪ロシア総領事館前でウクライナ侵略に抗議する集会を実施しました。

この行動に参加した大阪AALAの上村得世副理事長から次の報告が寄せられています。

急な呼びかけだったのでAALAからは理事長ほか

役員と会員数名の参加でしたが、地元豊中市の市民団体やSNSで知ったという若者の参加もありました。11時から30分間のスタンディングでしたが、120人も参加、多くのマスコミもつめかけていました。領事館は住宅街にあり、マイクの使用はできずサイレントスタンディングでしたが、参加者は各々手作りの「NO WAR」カードや横断幕を広げ訴えました。

若い参加者に声をかけると、「堺市から参加しました。SNSで見て、何かしたい、じつとしていられなかった。それで参加しました」と言っていました。こんな声が日本中、世界中に広がって一日も早くウクライナに平和な日常がもどってほしいです。

南森町交差点付近でも抗議のスタンディング行動

3月4日(金)、昼休みの時間帯の12時15分から13時まで大阪北区の南森町交



2・28 在大阪ロシア総領事館前行動

差点付近で憲法会議と平和委員会の呼びかけでロシアのウクライナ侵略に抗議するスタンディング行動が60人の参加で行われました。

平和を願う 世界中の人々と連帯

3月9日(水)には、「大阪総がかり行動実行委員会」主催で、ロシアのウクライナ侵略に抗議する集会在、中之島公園内で開催され、大阪AALAからも3名が参加、全体では目標を上回る700人以上が参加しました。

ウクライナに平和を！
忘れないで、
戦前の日本の姿
 Takako Yoshise さん
 の Facebook から
 2022.3.24

ロシアのウクライナ侵略が始まって1か月、この無法な戦争はいつまで続くのだろうか。コロナ禍で出口の見えない閉塞感の中、この地球の上で最悪の事態である戦争が始まって、ますます気の晴れない日々が続きます。

世界中で直ちに反戦の声が広がって、2日の国連総会緊急特別会議では141か国の賛成でロシア非難決議が採択され、16日には国際司法裁判所がロシアに軍事行動停止の命令を出した。

ロシア国内でも反戦デモや、国営テレビでの反戦アピール掲示などの報道もあるが、プーチン大統領の核兵器の威嚇や、国内の言論統制・弾圧など止まるところがない。

病院や避難所などを狙った攻撃など、1000万人ともいわれる難民は？子どもたちは？…思うだけで胸がつぶれそうです。

大阪大空襲の焼け跡を思い出させるウクライナの無残な攻撃跡、身の回りの荷物だけを抱えて逃げ惑うウクライナ避難民の姿に、空襲の中で大阪から疎開に向かった満員列車の中の幼い日のわが家族の姿を思い起こさせます。

『ウクライナに平和を』を強く叫ばずにはおれません。

そして、忘れてならないのは、戦前の日本の姿です。

無法な朝鮮併合、中国東北部への侵略と傀儡政権・満州支配・『南京大虐殺をはじめ』として、東南アジアの国々への侵略と蛮行』

私は、中国やASEANの各地を訪ねて1つ1つ確かめた贖罪の旅を重ねました。その償いの一端が「憲法9条」の誓いです。

そんな、あれこれの思いを巡らせつつ、反戦平和を貫いた100年の闘いの列に連なっている喜びを再確認しています。

ロシアのウクライナへの軍事侵攻は 「我々の歴史と重なる」

2/21 ケニア共和国・キマニ国連大使のスピーチ

この状況は、私たちの歴史と重なります。

ケニア、そして殆どのアフリカの国々は、帝国の終焉によって誕生しました。私たちの国境は、私たち自身で引いたものではありません。ロンドン、パリ、リスボンといった遠い植民地の本国で引かれたものです。いにしへの国々のことなど何も考慮せず、彼らは引き裂いたのです。

現在、アフリカの全ての国の国境線をまたいで、歴史的、文化的、言語的に深い絆を共有する同胞たちがいます。独立する際に、もし私たちが民族、人種、宗教の同質性に基いて、建国することを選択していたのであれば、この先何十年後も血生臭い戦争を繰り返していたことでしょう。

しかし、私たちはその道を選びませんでした。私たちは既に受け継いでしまった国境を受け入れたのです。それでもなお、アフリカ大陸での政治的、経済的、法的な統合をめざすことにしたのです。危険なノスタルジアで歴史に囚われてしまったような国を作るのではなく、未だ多くの国家や民族、誰もが知らないより偉大な未来に期待することにしました。

帝国が崩壊、あるいは撤退してできた国家には、隣国との統合を望む多くの人々がいることを知っています。それは普通なこと、理解できます。

かつての兄弟たちと一緒に、彼らと共通の目的を持ちたいと思わない人など、いるものでしょうか？

しかし、ケニアはそうした憧れを、力で追求することを拒否します。

私たちは、新たな支配や抑圧に再び陥らない方法で、滅びた帝国の残り火から、自分たちの国を甦らせないとはいけません。

私たちは、人種、民族、宗教、文化など、いかなる理由であれ、民族統一主義や拡張主義を拒むのです。我々は、今日、再びそれを拒否したいと思います。

ケニアは、ドネツクとルガンスクの独立国家としての承認に重大な懸念と反対を表明します。

さらに我々は、この安保理のメンバーを含む強大な国家が、国際法を軽視するここ数十年の傾向を強く非難します。

多国間主義は今夜、死の淵にあります。

過去に他の強国から受けたのと同様に、今日も襲われているのです。

多国間主義を守る規範のもとに再び結集させるよう求めるにあたり、私たちはすべての加盟国が事務総長の後ろ盾となるべきです。また、関係当事者が平和的手段で問題解決に取り組むように求めるべきです。

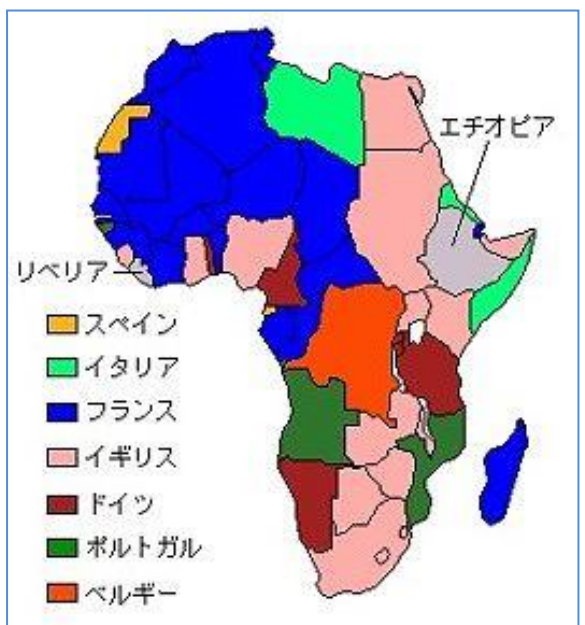
最後となりますが、ウクライナの国際的に認められた国境と領土的一体性が尊重されることを求めます。



ケニアのキマニ国連大使

ロシアのプーチン大統領が、ウクライナの東部ドネツク州とルガンスク州の独立を認め、ロシア軍の派兵を命令した2月21日、国連の緊急会合で、ケニアのキマニ国連大使が行ったスピーチが注目を集めています。

19世紀の中ごろからイギリスなどのヨーロッパ列強国によるアフリカ進出と植民地化が行われました。やがて対立するようになった列強国は、19世紀の末に話し合い、民族性や文化を考慮せずに緯線や経線で地域を分けてそれぞれ国の範囲を決め、アフリカを分割しました。



分割統治された19世紀のアフリカの地図

注目のケニア国連大使スピーチ
ロシアによるウクライナの
洲独立承認・軍事侵攻に抗議



松浦・デ・ビスカルド篤子さん

3月5日(土)、午前10時から11時30分まで大阪平和委員会事務局

入管問題をしっかり学習

日本は難民認定率0.4%
対して、ドイツは25.9%

を主会場に、大阪AALA事務局を副会場にして「在留外国人の人権が尊重される日本にするため、私たちができることは…」と題する学習会を22人の参加で開催しました。講師は松浦・デ・ビスカルド篤子さん(カトリック大阪大司教区社会活動センター・シナピス課長)。

松浦さんは、パワーポイントを用いて移民・難民への支援活動を通して見てきたことを、沢山の写真と図表を用いて紹介しました。「どの国の人であれ人権を守るのが国際的規範なのに、日本政府は守らない。そのために1年間に29か国の出身者がシナピスに支援を求めて来所する」「移民・難民に助けてもらわなければ今の経済状況を維持できないのに、移民・難民を排斥し排除しようとする日本…それは難民認定率の低さに現れている。2019年の難民認定率は日本0.4%(対する、カナダ55.7%、イギリス46.2%、ドイツ25.9%)」「十字架を立てているシナピスには行き場を失った人たちが身を寄せて来る。彼らは徒食(働かず)にぶらぶらと遊んで暮らすことを嫌うので、コロナ禍のなか医療用の防護服の作成をしてもらった。普段から医療支援をしてもらっている上二病院などに提供して喜んでもらった」

北大西洋条約の概要	
目的 (条約前文)	①国連憲章の目的及び諸原則への信頼と平和裏に生きることへの希望を再確認 ②自由、共通の生得権、及び人民の文明を擁護 ③北大西洋地域の安定と福祉の促進を追求 ④集団的防衛並びに平和及び安定の維持のための努力の統合を決意
第4条 (協議)	締約国は、領土保全、政治的独立又は安全が脅かされていると認めるときは、いつでも協議する。
第5条 (集団防衛)	欧州又は北米における一又は二以上の締約国に対する武力攻撃を全締約国に対する攻撃とみなす。締約国は、武力攻撃が行われたときは、国連憲章の認める個別的又は集団的自衛権を行使して、北大西洋地域の安全を回復し及び維持するために必要と認める行動(兵力の使用を含む。)を個別的に及び共同して直ちに必要により、攻撃を受けた締約国を援助する。
第10条 (加入)	締約国は、全会一致の合意により、本条約の諸原則を促進し北大西洋地域の安全保障に貢献することができる他のいかなる欧州の国を本条約に加入するよう招請することができる。招請されたいかなる国も米国政府に加入書を寄託することにより本条約の締約国になることができる。米国政府は各締約国に当該加入書の寄託を通報する。
第11条 (条約の批准)	本条約は、締約国により各自の憲法の手続に従って批准され、規定が実施されなければならない。(後略)

右「NATOの拡大」
左「北大西洋条約の概要」
いずれも外務省欧州局政策課資料から

主なオリガルヒと日米欧の制裁

セチン氏
石油大手CEO。プーチン大統領のサンクトペテルブルク副市長時代の秘書

プリゴジン氏
「大統領の料理人」の異名。民間軍事会社「ワグネル」の黒幕

チェメゾフ氏
軍事関連国営企業総裁。元KGBスパイ。侵攻支持表明

ウスマノフ氏
鉱業や通信を手掛ける巨大企業創業者

デリバスカ氏
「アルミ王」の異名。SNSで「早く停戦交渉を」

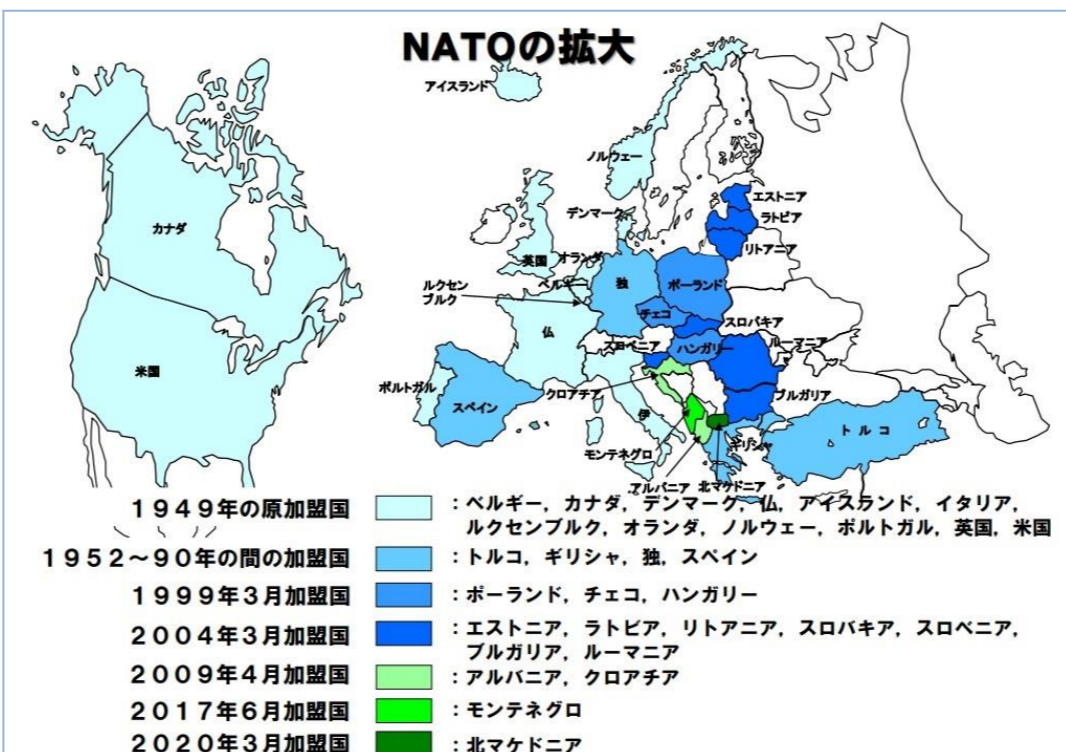
アブラモビッチ氏
英サッカー「チェルシー」オーナー。クラブ売却意向表明

オリガルヒ **制裁**

- ◆ヨットや高級マンションなどを含む資産凍結 **日、米、英、EU**
- ◆入国禁止 **米、英、EU** ※写真はロイター、タス、ゲッティなど
- ◆締め付けを強化するための作業部会設置 **G7など**

図① 主なオリガルヒと 参考①から

米欧各国の制裁対象は、石油大手のロスネフチのセチン最高経営指導者(CEO)、軍事関連企業総裁のチェメゾフ氏、民間軍事会社ワグネルの黒幕とされるプリゴジン氏、鉱業や通信を手掛けるウスマノフ氏ら。サッカー・英プレミアリーグの強豪チェルシーのオーナー、アブラモビッチ氏、アルミ王の異名を持つデリバスカ氏も含まれる(図①)。



プーチンとオリガルヒ

プーチンからの離反狙うが

ロシアがウクライナへの軍事侵攻を行ってから約1カ月経過します。米欧各国はロシアへの経済制裁を行うとしていますが、プーチン大統領と癒着する新興財閥オリガルヒに対しては、きびしい対応を講じているとみられます。そこでオリガルヒとは何かから見てみます。

オリガルヒの呼称は、「政権が少数の手に集中している体制」を意味するギリシヤ語に由来します。ソ連崩壊後のロシアの混乱期にのし上がり、政権を資金面で支えることで政治的影響力を持つようになりました。

3月22日の「NHKニュースウォッチ」は、「ロシアオリガルヒへの経済制裁の効果は、"ロンドンングラード"とは」を放送しました。

この「ロンドンングラード」の意味するところは、ロンドンはオリガルヒが高級住宅街の不動産を買いあさる街として知られ、ロシア語で都市を意味する「グラード」と併せて「ロンドンングラード」とやゆしているのです。オリガルヒは、国の内外に巨万の富を蓄え、プーチン政権を支えています。制度の抜け穴や時の政権とのつながりを利用して巨万の富を築いたとされるオリガルヒ。多くのオリガルヒがプーチン大統領に忠誠を誓いロシア経済の中核を占めています。米経済誌「フォーブス」によると、2月23日時点で、ロシアは超富裕層が保有する資産のGDPの21%に達するという

ことです。プーチンは、大統領に就任した2000年以降、エリート時代政治に影響力があつたオリガルヒたちの力を厳しく制限し、国全体を自分の個人的な管理下に置く取り組みを進めました。依然として独立した行動を続けようとした他のオリガルヒたちは、プーチン政権によって全面的に排除されました。エリート時代のエリートを破壊させると同時に、プーチンは、彼自身の取り巻きを、政治および経済の主要ポストに任命しました。この取り巻きの大半は国家保安委員会(KGB)出身者で、1980年代にサンクトペテルブルクの市政でプーチンと共に働いた者もいました。

北大西洋条約機構(NATO)について

北大西洋条約機構(NATO)は、1949年8月24日に発効した「北大西洋条約」に基づいた軍事同盟です。創設時10か国、現在30か国が加盟しています。NATOは、独立した加盟国が外部からの攻撃に対応して相互防衛に合意すること、集団防衛のシステムを構成しています。加盟国は、域内いづれかの国が攻撃された場合、集団的自衛権を行使し共同で対処することができるとしています。

1989年の冷戦終焉後、1991年に「戦略概念」を策定し、対ワルシャワ条約機構軍想定から、脅威対象を周辺地域における紛争を挙げ、域外地域における紛争予防および危機管理に重点を移しました。99年に「新戦略概念」として大量破壊兵器の拡散防止体制等を決めました。ソ連の崩壊によりソ連の影響圏に置かれていた東欧諸国が相次いでNATOおよび欧州連合(EU)への加盟を申請し30か国までに拡大しましたが、拡大をめぐるロシアはNATO東方拡大に警戒・反発を表明しています。

プーチンの背景を探る①

プーチンとオリガルヒ
経済制裁でプーチンからの離反狙うが

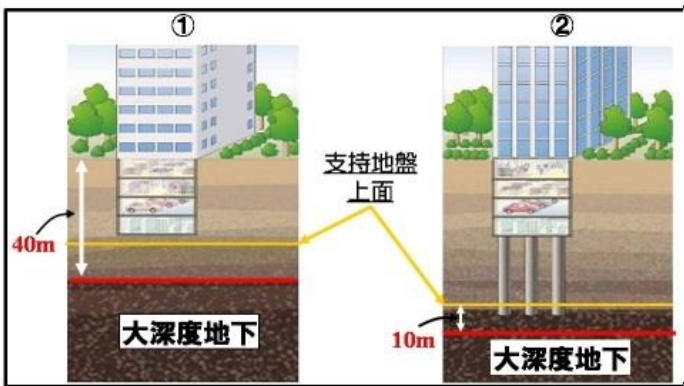
プーチンの背景を探る②

北大西洋条約機構(NATO)について



図① 北陸新幹線想定ルート案

図② 国交省「大深度地下の定義」から



図③ 敦賀—新大阪ルート案比較



	小浜舞鶴	小浜京都	米原
費用対効果	0.7	1.1	2.2
建設延長	190km	140km	50km
建設費	2兆5000億円	2兆700億円	5900億円
所要時間	60分	43分	67分
運賃・料金	6460円	5380円	6560円

※時間、料金は敦賀—新大阪間

※小浜-京都の京都以西は北側ルートで試算

北陸新幹線・京都延伸は どうしても必要か 京都府知事選挙の争点にも

京都では、府知事選挙が、3月24日告示、4月10日投票で行われています。府知事選挙の争点の1つに、大型開発問題があります。2兆1000億円もの北陸新幹線「延伸」や府民の財産、府立京都植物園をつぶす「北山エリア」開発などの大型開発に熱心な国交省・官僚出身の知事か、府民のいのちと暮らし、営業の悲鳴に寄り添い、解決のために力をつくす働く人の代表か、その選択が鋭く問われています。

北陸新幹線は2023年度末に、金沢〜敦賀間が開業予定です。当初、関西広域連合も推進していた建設費5900億円と見込まれた敦賀〜米原ルートが、自公与党のプロジェクトチームにより、敦賀〜新大阪「京都延伸ルート」に変更されました。

この京都延伸ルートの途中駅は、「小浜」「京都」「松井山手」3駅だけで(図①)、しかも総延長143kmの80%がトンネルで、京都市内は地下40mの大深度ト

ンネルです(図②)。建設予定額も京都〜新大阪間の北側ルートでは2兆700億円でしたが(図③)、決定された南側ルートでの国交省試算では2兆1000億円、自治体にも応分の負担義務があります。

ルートは、現段階では4〜12kmの幅の広いエリアでしか公表されていませんが、この計画には6つの大問題があると指摘されています。

まずトンネルの発生残土は880万t以上で、甲子園球場に積み上げると数メートルにもなる膨大な量です。しかも、京都北部山

北陸新幹線・京都延伸 6つの大問題

- (1) 大量の掘削残土発生は明らか。しかも、まともな処理計画はない
- (2) 土砂からヒ素検出の可能性大
- (3) 活断層地で施工して大丈夫か
- (4) 水循環を破壊する
- (5) 大深度地下トンネル施工は安全とはいきれない
- (6) 建設費の膨張は目に見えている
—北陸新幹線・京都延伸への巨額の税金投入は許されない

岳地帯にはヒ素やマンガなど高い濃度のエリアとなっており、汚染土の処理計画も皆無の状態です。

また京都周辺には、花折断層はじめ判明しているだけでも9つの活断層があり、安全性に疑問ありと指摘されています。

さらに京都市内での大深

度トンネル計画では、京都の地下にある巨大な「水盆」と水循環に与える影響は大きいと予想されます。そして、施工自体にも、リニア中央新幹線や東京・調布市の外環道工事現場で崩落事故が発生し、安全性での問題があります。

建設費でも2兆1000億円と巨額ですが、金沢〜敦賀間は当初建設予定額から44%増に膨張しており、建設費からJR西日本、リース料を差し引いた3分の2は国負担ですが3分の1は自治体負担で、地方財政圧迫は目に見えています。

他に並行在来線問題という課題もあるのです。

この先の新大阪までにも同様の大きな問題が予想されます。

カジノ計画きっぱり中止を 4月一杯の国申請めざし強行

カジノを核とする統合型リゾート(IR)を大阪湾の埋め立て地、夢洲に誘致するため「区域整備計画」を認めるかどうか、大阪府議会、大阪府議会で大きな焦点となっています。今年4月28日までの申請期限までに計画を国に申請するために強行可決の構えです。

3月24日、大阪府議会では整備計画の議案の採決が行われ、維新・公明・自民

などの賛成多数で可決されました。

大阪府議会でも3月29日に計画案の採決が行われる予定です。自民党市議団は、市が建設予定地である夢洲の土壌対策費として約790億円を負担することに反発して、IR整備計画に「反対」すると報道されています。

2月21日、「カジノの是非は府民が決める」住民投票を求める会が大阪のカジノ誘致の賛否を問う住民投票を求めて、直接請求署名運動を実施すると発表しました。

- カジノはIR施設の3%だけ**
カジノ6.5万㎡(計画案)1万2千人収容
大阪国際会議場 6.75万㎡
- 依存症対策は万全・・・「入り浸り」!**
入場回数規制7日で3回・1回24時間(最大72時間)
- カジノ業者が「特定貸付業務」**
カジノ業者が個人の資力調査が可能
1000万円の預託金で貸付します(上限不明)

「カジノの誘致なんて言ってる場合?」から

3月25日、IRの住民投票を求める署名活動が始まりました。署名は大阪府の有権者の50分の1にあたる約15万人分を集める必要があります。必要数を上回る署名が提出できれば、大阪府知事は住民投票を実施する条例案を府議会へ提出しなければならず、議会で可決されればIRの賛否を問う住民投票が行われます。

大阪AALA第5回常任理事会

大阪AALA第5回常任理事会が、3月15日(火)18時から開催されました。会議の内容について概要になります。報告します。

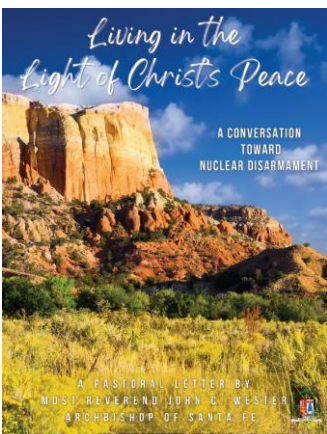
- ① 前回以降の経過確認。
- ② 国内外の情勢、とりわけロシアのウクライナ侵略問題。
- ③ 会員拡大。今年度の新規会員拡大は8人と読者4人。しかし高齢等による退会が新規会員の3〜4倍にもなりかねず、会員拡大が大変重要となっている。若者と現役世代を会員に迎えるためにAALAらしい文化的な楽しい取り組みを工夫し計画していく努力と、そのためには若い世代の方々に依拠して取り組む。
- ④ 会計では、一定数の長期滞納者がおられるので、一掃に努力する。また郵送料の値上げ問題等もある。
- ⑤ AALAカフェ第26回を4月10日(日)「こんな時になんでカジノを!」のテーマで中山直和さんを講師に行う。
- ⑥ 他団体の取り組み行事も紹介していく。
- ⑦ 第8次「国際署名」の

取り組みと「署名推進マニュアル」活用
⑧ ウクライナ支援募金について、大阪AALAとしても取り組む。

⑨ 国内ツアー、海外ツアーを期待する声に応え、企画・計画の検討を進める。(国内は日帰りも)
⑩ 当面の日程。4月20日(水)に第3回大阪AALA理事会を18時から大阪AALA事務所で行う。
⑪ 次期総会について準備をすすめる。

4月12日(火)の英語で世界を読む会へのお誘い

今回のテキストは、John C. Wester というアメリカ、ニューメキシコ州の司教が発した書簡「Living in the Light of Christ Peace: A Conversation toward Nuclear Disarmament」です。Webster 司教は、3月12日、民主党内の「進歩的米民主党員」の地元支部の例会に招かれて、ロシアのウクライナ侵攻について、核廃絶・軍縮の条約批准をアメリカ政府に要請しようと訴えました。「読む会」では



このテキストを少しずつ読んでゆきます。4月は第1章です。皆さん、「アメリカの良心」にふれてみませんか?! 「読む会」は大阪AALA事務所で行います。連絡先 安井 0797-85-9151 pichan5@hotmail.com 連絡いただければテキストを送ります

お詫びとお断り

3月5日(日)の入管法学習会の開催案内を大阪AALA機関紙3月号に掲載しました。ところが会員の方から、機関紙3月号の到着が3月4日で17時に帰宅して知ったが、参加申し込みもできない案内を形式的に掲載するのはおかしいと抗議のメールをいただきました。

2月15日の常任理事会で急遽協賛開催するとの確認を受けて、ホームページに掲載案内を掲載し、機関紙の翌月号に案内しましたが、お怒りももっともであり、今後は機関紙では確実に参加申し込み可能なもののみ掲載させていただきます。

AALAカフェ第26回

●テーマ：
「こんな時になんでカジノを！」

●お話し：中山直和さん
(大阪市をよくする会事務局次長)

◇とき：4月10日(日)
13:30-15:30(予定)

◇ところ：大阪AALA事務所
(JR・地下鉄「玉造駅」下車すぐ)



◇参加費：500円
(コーヒー、菓子、資料代)

*マスク着用をお願いします

*参加は大阪AALAまで事前連絡を

AALAカフェ第27回

●テーマ：2022年アメリカ報告
「フィラデルフィアのたたかう壁画たち」

●お話し：安井倫子さん
(英語で世界を読む会、大阪AALA常任理事)

◇とき：5月15日(日)
13:30-15:30(予定)

◇ところ：大阪AALA事務所
(JR・地下鉄「玉造駅」下車すぐ)

◇参加費：500円
(コーヒー、菓子、資料代)

*マスク着用をお願いします

*参加は大阪AALAまで事前連絡を



絵手紙 津村よしえ

プーチンよ侵略やめよ春雲
白公維の世は真つ暗の春の風
オミクロン成り行き任せ春浅し
大阪市福島区 生駒 清

俳句

プーチンに愛説く無駄を思い知る
ウクライナ青空あるも人は見ぬ
キエフでの崩れたビル陰の花
大阪府四條畷市 西川 寛

川柳



大阪AALA
へのお誘い

会費 月800円(年9,600円) (25才以下は年3,000円) ※入会金 500円
*会費の会計年度は毎年4月から翌年の3月です。半期毎に4,800円づつご入金をお願いします。
*会費の中には機関紙代も含まれています。月初めに大阪AALAと日本AALAの機関紙を郵送いたします



発行

大阪アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会 (大阪AALA)
Osaka Asia Africa Latin America Solidarity Committee
〒540-0004 大阪市中央区玉造1-6-11 黒石ビル3F
TEL 06-6768-5360 FAX 06-6768-5361
E-mail: osakaaala@nifty.com HP: http://osakaaala.la.coccan.jp/

機関紙・宣伝委員会

